



日本の「宝島」あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより

## 天草を盛り上げる「未来の大人」たち

近年、全国的に梅雨明け後の猛暑、お盆前後の長雨や豪雨など、これまで経験したことのない異常気象が起ります。また、新型コロナウイルスにおいては、このところ新規感染者数は減少の兆しが見えますが、まだまだ油断はできず、多くの活動で制約が続いています。

本渡まちづくり協議会においても例外ではなく、計画どおりに活動できずにいます。このような中、全国から20の団体が参加して行われた、今年度の第6回全国高校生SBP交流フェアも昨年に続きオンラインでの開催になりました。

自分たちの取り組みを発表した天草拓心高校SBP部は、見事に上位6団体に選出され、決勝の場でも堂々とした立派なプレゼンを行いました。他に選出された団体も、それぞれが地域の特性を生かし、工夫して活動している様子が窺える非常に素晴らしいものでした。そして厳しい審査の結果、拓心高校は「文部科学大臣賞」を受賞しました。これまでにご支援をいただいた皆様に感謝を申し上げますとともに、引き続きよろしくお祈りいたします。

先輩たちの熱い思いを引き継ぎ頑張っています。しかし、これからが正念場です。実績を積み上げ、継続して後に繋いでいくことが求められます。最高の賞に恥じない活動ができるよう、私たち本渡まちづくり協議会でも、学校との連携を密にして応援していきたいと思ひます。「高校生の伸びしろは、そのまま日本の伸びしろだ！」という岸川先生の言葉のように、そのまま天草の伸びしろでもあります。ふるさと天草の「未来の大人」を応援する活動を続けていきたいと思ひます。

地域には五つの資源があります。自然資源・文化資源（歴史的なもの）・人的資源・人間関係資源（人の繋がり悪いところは資源にならない）・経済資源です。これらの資源を生かして次世代に繋いでいくために重要なことがあります。一つ目は志を高く持つこと。そしてそれを子供たちに示していくこと。二つ目は自分たちの仕事、活動に誇りを持つこと。誇りと経済が結びつかなければならず、そういったことを子供たちに見せていくこと。三つ目は地域が持っている良さの中で歴史文化がある。私たち大人がこれをしっかり勉強して見つめ直し、それを子供たちに継承していくこと。四つ目はコミュニティという人間関係資本というのは、絆プロジェクト、コミュニティ施策などで自分たちがしっかり汗を流し、そしてその姿を子供たちに見せていくこと。最後は変えていく部分と残していく部分をしっかり考えていくこと。不易流行という言葉があるが、変えていく部分にはそうした姿勢あるいは実行していく部分の子供たちにしっかり見せていくこと。残したい部分、不易の部分は頑固なまでに保存して残していくが、その他の部分は時代のニーズに合うように変えていくことが大事。志があるかどうかという視点が子供たちに未来を伝えていく重要な鍵ではないか。（小野上典明 著「雪月風火とともに」より内容を一部抜粋）

私たちの地域には、このような資源がたくさんあります。誇りを持ちながら志して子供たちに繋いでいきたいものです。皆様のご指導、ご協力よろしくお祈りいたします。



本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治

Vol. 27

令和3(2021)年10月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和3年度事業計画・収支予算など……………P2～3
- 未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業……………P4～5
- 天草市LINE・安全安心メール……………P6
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P7
- 本渡まちづくり事故見舞金制度……………P7
- 天草拓心高校SBP部の紹介など……………P8

### ほんどのいま

令和3年9月1日現在  
(令和3.3.1との比較)

【本渡南】	男……………3,783人(-3)
女……………4,352人(-40)	
計……………8,135人(-43)	
世帯数……………3,778(+8)	
高齢化率……………33.5%	
【本渡北】	男……………5,509人(+16)
女……………6,033人(+8)	
計……………11,542人(+24)	
世帯数……………5,168(+64)	
高齢化率……………24.2%	
【亀場】	男……………2,090人(-3)
女……………2,340人(+15)	
計……………4,430人(+12)	
世帯数……………1,862(+25)	
高齢化率……………25.5%	
【柞宇土】	男……………282人(-8)
女……………297人(-10)	
計……………579人(-18)	
世帯数……………263(-4)	
高齢化率……………49.9%	
【志柿】	男……………1,223人(-26)
女……………1,422人(-50)	
計……………2,645人(-76)	
世帯数……………1,201(-16)	
高齢化率……………37.5%	
【下浦】	男……………788人(-4)
女……………897人(-9)	
計……………1,685人(-13)	
世帯数……………762(0)	
高齢化率……………45.3%	
【桶浦】	男……………1,103人(-27)
女……………1,210人(-29)	
計……………2,313人(-56)	
世帯数……………997(-16)	
高齢化率……………39.8%	
【本町】	男……………808人(-2)
女……………837人(-17)	
計……………1,645人(-19)	
世帯数……………829(+3)	
高齢化率……………41.9%	
【佐伊津】	男……………1,500人(-20)
女……………1,632人(-25)	
計……………3,132人(-45)	
世帯数……………1,440(+4)	
高齢化率……………36.9%	
【宮地岳】	男……………226人(-11)
女……………245人(-1)	
計……………471人(-12)	
世帯数……………236(-3)	
高齢化率……………54.4%	
【合計】	男……………17,312人(-88)
女……………19,265人(-158)	
計……………36,577人(-246)	
世帯数……………16,536(+65)	
高齢化率……………32.0%	

【編集・発行】  
本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市 地域振興部  
まちづくり支援課  
〒863-8631  
熊本県天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-32-6661  
FAX 0969-24-2744  
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

## 天草拓心高校SBP部の活動紹介

SBP部で取り組んでいる活動について、市長に報告に伺いました。

7月1日にSBP部の生徒3人で市長を訪問し、防災非常食の開発とあまりん焼（オリジナルたい焼き）の取り組み内容について説明しました。生徒から、「商品開発や販売を頑張っていきたい」「SBPの取り組みを将来の糧にしたい」など活動に対する抱負を述べると、市長からは、「高校生の皆さんが活躍できるような場を作っていくので、商品開発などどんどん取り組んでほしい」「高校生が地元に残り、地元を離れても帰ってこられるような天草市をつくっていく」とのお言葉をいただきました。

生徒たちは、将来の目標などについても市長と話をし、今後の学校生活においてもいい刺激を受けました。



▲取り組みについて市長に説明



▲市長と記念撮影

### あまりん焼き

天草市の花「ハマボウ」と「イルカ」をモチーフにしているオリジナルたい焼き「あまりん焼き」は、永田冷蔵さんのご協力のもと、生地にいちじくアイスを含んだものを開発しました。生地の風味とアイスの甘さが絶妙でとてもおいしいです。銀天街で毎月第3日曜日に開催されている「まちはみんなの遊園地」で販売していく予定です。

あんこを含んだ温かいあまりん焼きも販売していますので、皆さんぜひお越しください！

### 防災用非常食

三重県の南伊勢高校と共同で開発した防災非常食「せんだご汁」は、9月に本渡地域の各振興会に納品しました。地区の避難訓練等で活用していただき、この非常食をとおして防災意識を高めていってほしいです。



私たちの活動については、天草拓心高校ホームページ内SBPのコーナーで随時発信していきますので、ご覧ください。また、このプロジェクトには、多額の資金が必要です。ご協賛いただけると幸いです。



## 善意の寄附 ありがとうございました [令和3年3月～令和3年8月 本渡まちづくり協議会受領分]

○ふるさと応援寄附金として (敬称略)

金谷 君儒 (埼玉県) 小林 清香 (北海道) 浅村 尚生 (東京都) 笠原 大智 (岡山県)  
 村田 康弘 (福岡県) 正木 良卓 (福岡県) 柴田 勝己 (大阪府) 中田 清弘 (大阪府)  
 森野貴理人 (神奈川県) 成島 健司 (埼玉県) 濱田 慈朗 (滋賀県) 平野 聖 (大阪府)  
 渋谷 健人 (兵庫県) 陣内 伸樹 (東京都) 中村 充 (兵庫県) 清田 直人 (熊本県)  
 崔 眞 (千葉県)

※その他、57人の方にご寄附をいただきました。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

## もしもの時のために【本渡まちづくり事故見舞金制度】 地域活動での怪我などに支給されます

本渡まちづくり協議会では、本渡地域にお住まいの方で、社会体育行事・地域コミュニティ活動に参加中の事故等により負傷された方などに対し、事故見舞金を支給する制度を設けています。

社会体育行事・地域コミュニティ活動とは、次の4項目のいずれかに該当するものとして、います。

- (1) 天草市教育委員会、体育協会、本渡地区公民館が主催する社会体育行事
- (2) 県民体育祭、その他天草市及び区を代表として選手を派遣する社会体育行事
- (3) まちづくり協議会、地区振興会、区、自治公民館が主催する活動
- (4) 上記に定めるもののほか、各地区振興会が該当すると認める行事

もし、これらの行事・活動において負傷された場合は、お住まいの地域の各地区振興会までご相談ください。本渡まちづくり協議会で審査を行った後、見舞金の支給を判断いたします。

また、支給される見舞金の額は次のとおりです。

	区 分	支 給 額
死 亡	事故を直接の原因として60日以内に死亡した場合	40万円
	事故を直接の原因としないで死亡した場合	20万円
負 傷	医師の診断による ただし、180日までを限度とする	(通院・入院) 1日 1,000円
	診断書費用(実費)を加算する	

※各地区コミュニティセンター利用時の負傷などを補償する「公民館総合保障制度」との併用も可能です。

# まちづくりは人づくり! 若者が活躍する地域に!

## ～ 令和3年度第1回まちづくり協議会を開催～

### 令和3年度の事業計画・収支予算を審議

令和3年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を6月4日、天草市役所本庁舎で開催しました。

会議には、委員など21人が出席。令和2年度の事業実績・収支決算・監査報告や、令和3年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

本会の「まちづくりは人づくり」という基本理念のもと、今年度も地域リーダーや担い手の育成を中心とした事業を展開することとなりました。「協議会だより発行事業」「未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業」を継続して実施するとともに、昨年度はコロナ禍によりやむを得ず中止となった他の事業についても、オンライン方式や会場を分散しての実施など、安全に配慮しつつ、より多くの成果を得られるような方法を検討していきます。

**まちづくり研修**  
まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換すること、気づきや発見を得、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。今年度は、本会委員や地区振興会職員を対象として、まちづくりに関する先進的な取り組みに触れる研修を検討いたします。

**まちづくり人材育成事業**  
まちづくりを推進する人材の育成を目的として研修を行うものです。平成30年度に実施した人材育成事業を踏まえ、各地域で意欲のある方を外部機関へ積極的に派遣し、実践的な研修を受講してもらいます。

### 各事業の紹介

### 令和3年度 収支予算

収 入	
予算額	18,345,000円
○天草市交付金	16,833,000円
○参加者負担金	320,000円
○繰越金	230,897円
○繰入金(ふるさと応援寄付金)	961,000円
○雑入	103円

支 出	
予算額	18,345,000円
○運営費	305,000円
○事業費	2,955,000円
・まちづくり人材育成事業	(450,000円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(540,000円)
・まちづくり研修事業(振興会職員研修)	(384,000円)
・まちづくり講演会	(170,000円)
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(511,000円)
・HONDOまち婚	(200,000円)
・協議会だより発行事業	(700,000円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	200,000円

### 令和2年度 収支決算

収 入	
決算額	17,413,897円
○天草市交付金	16,833,000円
○繰越金	230,888円
○雑入	350,009円

支 出	
決算額	17,183,000円
○運営費	167,358円
○事業費	1,766,524円
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(1,099,338円)
・協議会だより発行事業	(667,186円)
○地区振興会活動費	13,002,104円
※10地区振興会の活動費	
○交付金返還金	2,247,014円
※コロナ禍により事業の中止が相次いだため、交付金の余剰金を返還しました。	
○次年度への繰越金	230,897円





### 本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 清武	楠浦地区振興会長
監事	竹畑 研一	公募
〃	濱崎 又幸	公募
委員	亀子 研二	本渡南地区振興会長 ※
〃	金澤 一紀	本渡北地区振興会長
〃	河野 晃	電場地区振興会長
〃	平山 辰巳	柵宇土地区振興会長
〃	有江 浩三	志柿地区振興会長
〃	川崎 宏	下浦地区振興会長
〃	堀田 福男	本町地区振興会長
〃	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
〃	松川 莞爾	宮地岳地区振興会長
〃	寺澤 静子	文化関係
〃	原田 健二	体育関係
〃	井上 雅之	経済団体 ※
〃	上村 恭子	観光関係
〃	梅川 正	産業関係
〃	横田 早苗	社会福祉関係
〃	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任の委員さまです。

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(市まちづくり支援課) ☎026661へお尋ねください。



協議会だよりは、年2回、本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたと思います。ご意見やご要望などありましたら、本



▲協議会だより Vol.26

協議会だよりは、事務局(市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

### 協議会だより発行

### 未来の大人応援プロジェクト (SBP) 事業

平成30年3月13日に開催した本渡まちづくり講演会をきっかけに天草拓心高校と本会が連携し、「未来の大人応援プロジェクト」(SBP)と題して地域課題の解決に向けた取り組みを進めています。その内容として、現在、天草拓心高校SBP部が中心となり、オリジナルたい焼き(あ

まりん焼き)と防災非常食に関する活動を行っていますので、本会としては、今年度も引き続き「一般社団法人未来の大人応援プロジェクト」代表理事の岸川政之氏とともに高校と連携して取り組みを支援してまいります。(詳細については、4、5、8ページをご覧ください)

### HONDOまち婚事業

少子化対策、若者の交流機会の拡大を目指し、楠浦地区振興会と協働で取り組んでいる事業です。今後、身だしなみやコミュニケーションの向上に向けた講座や、カップリング交流会などを企画します。

## コロナ禍・災害・詐欺等の被害を防ぐための情報配信

# 登録はお済みですか? 天草市からの情報配信ツール

コロナ禍での感染防止対策、大雨や台風の接近に伴う警報や避難指示の発令、電話でお金をだまし取る詐欺被害の発生など、近頃においては自身や家族に迫る様々な危機に対応して安全・安心を確保するために、適切な情報収集は欠かせないものとなっています。

今回は、身を守るために必要な情報を配信している天草市の公式サービスについて、概要と登録方法をご紹介します。まだ登録がお済みでない方は、この機会にぜひ登録を検討されてはいかがでしょうか。

### 天草市安全・安心メール

避難勧告や土砂災害警戒情報などの防災情報、健康情報、大気環境情報、行方不明者情報などが電子メールで携帯電話やパソコンに配信されるサービスです。登録料は無料(通信料は自己負担)です。

### 登録方法

「re-ansin@amakusa-web.jp」または記載のQRコードにアクセスして空メールを送信し、返信メールの案内にしたがって登録してください。



注) 携帯電話でパソコンからのメールを受信しない設定を行っている場合は、ドメイン名「amakusa-web.jp」が受信できるように設定してください。

### 天草市公式LINE

このLINEでは、安心安全情報や防災情報、火災情報などを中心に配信していますので、友だち登録後にメニューの受信設定から受信したい内容の登録を行ってください。

また、トーク画面下部のメニューでは休日当番医や広報紙、ごみの出し方のホームページにアクセスできます。



### 友だち登録

天草市を友だち登録するには、下記のいずれかの方法をお願いします。事前にお持ちのスマートフォンにLINEアプリがインストールされていることをご確認ください。

#### 登録方法 (1)

右記のQRコードをスマートフォンで読み取り、登録してください。



#### 登録方法 (2)

「友だち追加」を選択して、ID検索の入力ボックスに「@amakusa-city」と入力して登録してください。



# 第6回全国高校生SBP交流フェア ～学生の学生による学生のための祭典～

天草拓心高校SBP部が、7月31日、8月1日にオンラインで開催された「第6回全国高校生SBP交流フェア」に参加し、活動内容について発表しました。その内容についてご紹介します。

SBP交流フェアとは、全国からSBPの取り組みを行っている高校が、取り組みの紹介や開発商品の販売をしながら、参加者同士の情報交換やネットワークの構築のための交流を行うものです。同フェアは企画・進行・案内をSBPの取り組みを行っている高校生が担当し、地元大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生主体のフェアです。

毎年三重県伊勢市で開催されていますが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から昨年度に引き続きオンライン方式による開催となり、参加団体は、学校などに集まって参加しました。

## SBPチャレンジアワード 本選

発表する20団体が3グループに分かれ、2日にかけて取り組み内容の説明(5分)、審査委員による質疑(5分)を行い、各グループから採点上位2団体が8月22日の決勝に進みます。

各団体とも、事前に作成した4分程度の動画によるプレ



▲取り組みの説明(動画)

ゼンテーションを行い、その後審査委員からの質問がありました。どの団体も工夫を凝らした発表で、自分たちの取り組みに自信をもっていることがうかがえました。

天草拓心高校SBP部は8月1日に発表を行い、「あまりん焼き(オリジナルたい焼き)」と「防災用非常食の開発」に関して発表しました。(プロジェクトの内容は、8ページ参照)

## SBPチャレンジアワード 本選の講評と結果発表

8月8日には、7月31日か



▲まちづくり協議会も発表を見学



▲審査委員による結果発表と講評

ら8月1日にかけて行われたポスターセッションについて、講評と結果発表が行われました。

評価については、雅(50点以上75点未満)、輝(75点以上90点未満)、極(90点以上)の3段階で実施されました。

天草拓心高校は、極(90点以上)の評価をいただき、上位6団体に選ばれ決勝に進出することとなりました。

審査員からは、「避難所でせんだご汁を食べたらみんな天草のファンになるのでは。今後の販路拡大を期待している。」「あまりん焼きで全国の



▲拓心高校の発表のようす

高校とつながってほしい。」とのコメントをいただきました。

## 天草拓心高校は、「文部科学大臣賞」を受賞!

### SBPチャレンジアワード 決勝

最終日となる8月22日には、ポスターセッションを通過した6団体による発表がありました。

天草拓心高校は10分間の発表時間の中で、緊張しながらも、取り組みの内容や自分たちの思いなど方言を交えた発表で伝えました。

審査員からは、「一生懸命作った非常食が食べられない



▲拓心高校の発表のようす



▲結果発表のようす

方がいいというのは素晴らしい。では今後どのように使ってもらおうか。」「非常食でもイチジクを使ってみたらどうか。」「他校と交流してどうだったか。」「などの質問があり、今後の取り組みについて参考になるアドバイスをもらいました。

天草拓心高校は、20団体の中で最高賞の「文部科学大臣賞」を受賞しました。非常食を通して防災意識を高めてほしいというコンセプトや、他校と共同での取り組みが評価されました。

また、協賛企業や審査員から送られる賞として、角田陽一郎賞と徳野賞も併せて受賞しました。

## 「文部科学大臣賞」を受賞!

※SBP: Social Business Projectの略で、地域課題を「ビジネスの手法を用いて解決していく」という取り組みです。

具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。



## 第6回全国高校生SBP交流フェアに参加して

天草拓心高校SBP部 3年 原田 護大

### 「全員で掴んだ日本一」

私達天草拓心高校SBP部は、これまで「せんだご汁の防災用非常食」とオリジナルたい焼き「あまりん焼き」の開発を行ってきました。先日行われた第6回全国高校生SBP交流フェアで、私達の活動内容だけではなく、私達の活動を知って多くの方が防災意識を高めてほしいという思いや地域を活性化させたいという思いを発表しました。結果は、日本一を達成し文部科学大臣賞を受賞させていただきました。強い思いで部員一丸となって協力し合い、多くの時間をかけ活動してきたことを評価していただき、とても嬉しかったです。また、このような素晴らしい賞をいただくことが出来たのは、地域の方々や市役所の方々など多くの大人の皆さんのサポートがあったおかげです。

天草拓心高校SBP部は、今年度で3年目になります。これからは2年間で積み上げてきたものを、さらに進化させつつ、地域課題解決のために新たな活動にも取り組んでいこうと思います。今回いただいた賞に恥じることはないよう、周りの方々への感謝も忘れず、来年度の交流フェアでは連覇できるように頑張ります。



▶フェアに参加した部員